

生物資源管理学科

1. 受賞

なし

2. 著書

増田佳昭 (2013) J Aは誰のものか—多様化する時代の J Aガバナンス—, 家の光協会, 東京.

Yamazaki, K., K. Nakanishi and H. Sawada (2013) Ecology of the Blue-Striped Grub Moth *Parasalepida* (Lepidoptera: Limacodidae) in Japan. In; Lepidoptera: Classification, Behavior and Ecology. Elia Guerriore and Johannes DeSare (eds.), Nova Science Publishers, New York, 187-201.

3. 論文

Ohtsuka, T., Y. Shizu, M. Hirota, Y. Yashiro, S. Jia, Y. Imura and H. Koizumi (2014) Role of coarse woody debris in the carbon cycle of Takayama forest, central Japan, Ecological Research 29: 91-101.

Kawahigashi, M., K. Ono, Y. Imura and N. Fujitake (2013) Investigations of environmental changes based on chemical analyses of humic substances, Humic Substances Research 10: 1-9.

Ohtsuka, T., M. Negishi, K. Sugita, Y. Imura and M. Hirota (2013) Carbon cycling and sequestration in a Japanese red pine (*Pinus densiflora*) forest on lava flow of Mt Fuji, Ecological Research 28: 855-867.

川東正幸, 高橋正, 藤井一至, 高橋正通, 三浦寛, 石塚成宏, 金子進司, 白戸康人, 矢ヶ崎泰海, 高田祐介, 和穎郎太, 岸本文紅, 米村正一郎, 平館俊太郎, 渡邊眞紀子, 泉岳樹, 藤嶽暢英, 飯村康夫 (2013) 日本の土壌炭素賦存量を量・質の両面から考える, 日本土壌肥料学会誌 84 : 224-229.

Imura, Y., M. Hirota, H. Ida and T. Ohtsuka (2013) Comparison of quantity and quality of soil organic carbon between matured and gap areas in an

old-growth beech forest, Journal of Geography 122: 723-732.

Li, W., T. Numata, S. Kobayashi, T. Yamada, F. Li, T. Ohtsuka and Y. Imura (2013) Investigation of the composition and origin of particle organic matter in a forested river, Journal of Water and Environment Technology 11: 131-142.

Yao, Y., T. Sakamoto, Y. Honda, Y. Kagotani, K. Izumitsu, K. Suzuki and T. Irie (2013) The White-Rot Fungus *Pleurotus ostreatus* Transformant Overproduced Intracellular cAMP and Laccase, Bioscience, Biotechnology, and Biochemistry 77:2309-2311.

増田清敬, 富岡昌雄 (2013) 環境こだわり農業における温室効果ガス排出の LCA 評価—水稲栽培を対象として—, 農林業問題研究 49 : 219-224.

Masuda, K. and Y. Yamamoto (2013) Comparison of environmental performance between conventional and organic roughage production: Grass and silage maize, Agroecology and Sustainable Food Systems 37: 1120-1143.

皆川明子, 木村幸, 藤山宗, 樽屋啓之 (2014) 都市化地域での水路の部分改修が水路システムに及ぼす影響, 農業農村工学会誌 82 : 15-18.

皆川明子, 田和康太, 北村淳一 (2013) 三重県の用排兼用水路における灌漑開始直後の魚類の分布の変化, 魚類学雑誌 60: 163-170.

Oguri, H., K. Okano, H. Ieki, M. Kitagawa, O. Tadokoro, Y. Sano, K. Oishi, H. Hirooka and H. Kumagai (2013) Feed intake, digestibility, nitrogen utilization, ruminal condition and blood metabolites in wethers fed ground bamboo pellets cultured with white-rot fungus (*Ceriporiopsis subvermispora*) and mixed with soybean curd residue and soy sauce cake, Animal Science Journal 84: 650-655.

舟尾俊範, 沢田裕一 (2013) 水田地帯の小河川へのナマズの侵入および繁殖について, 魚類学雑誌 60 : 43-48.

Funao, T., T. Nishida, Y. Kurashige and H. Sawada (2014) Different suitability of improved irrigation channels as reproductive sites for Cyprininae and *Silurus asotus*. Scientific Reports doi: 10.1038/srep03588.

田和康太, 中西康介, 村上大介, 西田隆義, 沢

- 田裕一 (2013) 中山間部の湿田とその側溝における大型水生動物の生息状況, 保全生態学研究 18: 77-89.
- 牛島積広, 中西康介, 籠洋, 日高直哉, 村上大介, 金井亮介 (2013) 滋賀県高島市朽木生杉で確認された昆虫類の記録, 滋賀自然環境研究会誌 11 : 39-42.
- Nakanishi, K., T. Nishida, M. Kon and H. Sawada (2013) Effects of environmental factors on the species composition of aquatic insects in irrigation ponds, Entomological Science, doi: 10.1111/ens.12043.
- 神沼英里, 七夕高也, 矢野健太郎, 清水顕史, 岩田洋佳 (2013) 育種のための情報解析ツール使い倒し塾. 育種学研究 15 : 122-127.
- Iehisa J.C.M., A. Shimizu, K. Sato, R. Nishijima, K. Sakaguchi, R. Matsuda, S. Nasuda and S. Takumi (2014) Genome-wide marker development for the wheat D genome based on single nucleotide polymorphisms identified from transcripts in the wild wheat progenitor *Aegilops tauschii*, Theoretical and Applied Genetics 127: 261-271.
- Taguchi, T., Y. Miura, D. Krueger and S. Sugiura (2014), Utilizing stomach content and faecal DNA analysis techniques to assess the feeding behaviour of largemouth bass *Micropterus salmoides* and bluegill *Lepomis macrochirus*, Journal of Fish Biology, 84: 1271-1288.
- 谷口拓矢, 泉津弘佑, 多々良康香, 小玉沙代, 横山 綾, 入江俊一, 久保康之, 鈴木一実 (2013) ウリ類炭疽病菌における low affinity cAMP phosphodiesterase の役割, 日本植物病理学会報, 79:172.
- 多々良康香, 泉津弘佑, 谷口拓矢, 横山 綾, 丸山麻美, 入江俊一, 鈴木一実 (2013) ミトコンドリアにおける脂肪酸の β 酸化はウリ類炭疽病菌の病原性発現に重要である, 日本植物病理学会報, 79:172.
- Ueda, K. (2013) Consideration for the Relationship between Dam Constructions and Red Tide Occurrences in Small Bays, Seto Inland Sea of Japan and Mexican Gulf, Open Journal of Marine Science, 3: 201-211.
- なし
5. 報告書, その他著作, 一般向け記事
- 1) 科研費他外部研究費による研究の成果報告書
- なし
- 2) 受託研究等の報告書
- 飯村康夫 (2013) 岐阜大学活性化経費報告書, 森林の窒素吸収速度が難分解性土壌有機物分解プロセスに及ぼす影響の定量的評価.
- 増田佳昭 (2013) J Aにおける収支構造と営農指導事業費の位置づけ, 地域農業振興・活性化に果たす J Aの役割に関する調査研究報告書 II, (社) 農業開発研修センター, 2013年3月, 88-91, 100-108.
- 清水顕史 (2013) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定とDNA マーカーの開発, ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト 平成25年度試験研究成績書, 28-31.
- 須戸幹 (2013) 環境省環境研究総合推進費, 適切なリスク管理対策の選択を可能にする農薬の定量的リスク評価法の開発 (C-1102) にかかる平成25年度農薬モニタリングおよび農薬使用実態調査業務報告書.
- 3) ハンドブック, 辞典, 図鑑などへの執筆
- 泉津弘佑 (2013) 日本菌学会 (編), 菌類の事典, 項目数1, 朝倉書店, 東京.
- 4) 新聞, 一般向け雑誌等への解説記事など
- 飯村康夫, 大塚俊之, 村岡裕由 (2013) 野外研究サイトから (23) 高山 (たかやま) サイト, 日本生態学会誌 63 : 145-150.
- 増田清敬 (2013) 若手報告の発展に向けて, 農林業問題研究 49 : 458.
- 増田佳昭 (2013) J Aの組織基盤の現状と再構築に向けてー「つながり」強化への本格的取り組みをー, 協同組合経営実務, 2013年増刊号, 16-25.
- 増田佳昭 (2013) ポスト国際協同組合年・これからの協同組合に期待すること, 滋賀県生活

協同組合連合会「滋賀の生協」, No.163: 6-12.
増田佳昭 (2013) 支店協同活動でJAらしさの再構築を, 家の光協会「家の光ニュース」, No.798: 19-23.
増田佳昭 (2014) 協同組合のアイデンティティをあらためて考えるーICA「ブループリント」を素材に, 月刊JA, 2014年1月号, 22-26.
増田佳昭 (2013) 論点一足下を直視する・集落組織のてこ入れと相対化, 日本農業新聞, 2013年5月20日.
増田佳昭 (2013) 論点ー協同組合の参加・権力に対抗する手段, 日本農業新聞, 2013年12月16日.
杉浦省三 (2013) 志は心のいのち一サケの生きる力ー(特集 世界に広がる環境科学部の教育・研究). 滋賀県立大学環境科学部年報 17: 33-35.

6. 学会等への発表

- Kowata H., Y. Nagakawa, N. Sakurai, A. Hokura, Y. Terada, H. Hasegawa and E. Harada (2013) Mechanism of cesium absorption in a submerged plant, *Egeria densa*. 4th International Symposium on Metallomics 2013, Oviedo, Spain (2013年7月8日~11日).
- 小杉亜希, 田丸潤, 後藤和美, 清水顕史, 河邊昭, 原田英美子 (2013) 伊吹山の石灰石採掘場に生育する *Arabidopsis halleri* ssp. *gemmifera* の2つの生態型における金属蓄積, 日本植物学会第77年会, 札幌市 (2013年9月13日~15日).
- 浅山拓馬, 白木望美, 井上翔太, 奥田絵里奈, 長谷川博, 原田英美子 (2014) 水生植物オオカナダモ (*Egeria densa*) のMn蓄積性, 日本農芸化学会2014年度(平成26年度)大会, 川崎市 (2014年3月27日~30日).
- 西村貴皓, 飯村康夫, 井田秀行, 廣田充 (2014) 植生構造に着目した冷温帯ブナ成熟林における土壌呼吸とその空間変動, 日本生態学会, 広島市 (2014年3月14日~18日).
- 廣田充, 飯村康夫, 岸本文紅, 大浦典子, 内田昌己, 中坪孝之 (2014) 高緯度北極湿原における大気-湿原間CO₂フラックスの空間変動, 日本生態学会, 広島市 (2014年3月14日~18日).
- 吉竹彩子, 吉竹晋平, 飯村康夫, 大塚俊之 (2014) 冷温帯落葉広葉樹林における窒素無機化速度の空間分布ー樹木の成長および微生物活性との関係性-, 日本生態学会, 広島市 (2014年3月14日~18日).
- 飯村康夫, 森田悠介, 吉竹晋平, 大塚俊之 (2014) 白山山麓・大白川ブナ原生林における土壌窒素無機化速度の空間的不均一性, 日本生態学会, 広島市 (2014年3月14日~18日).
- 加藤拓, 飯村康夫, 松本寿紀, 辰巳誠, 浅田まどか, 福島寛子, 藤嶽暢英 (2013) 黒ボク土畑における堆肥施用が土壌腐植物質へ及ぼす影響, 日本腐植物質学会, 佐賀市 (2013年11月21日~22日).
- 飯村康夫, 村山昌平, 大塚俊之 (2013) 冷温帯落葉広葉樹二次林(高山サイト)における土壌腐植酸と土壌CO₂の質的關係, 日本腐植物質学会, 佐賀市 (2013年11月21日~22日).
- Hirota, M., T. Nishimura, Y. Iimura and H. Ida (2013) Evaluation of carbon dynamics in cool-temperate old-growth forest in relation to stand structure: present and future perspectives, International Workshop "Monitoring of Forest Ecosystems: Where Do We Stand?", Tokyo, Japan (2013年12月2日~3日).
- 廣田充, 飯村康夫, 岸本文紅, 大浦典子, 内田昌己, 中坪孝之 (2013) 高緯度北極湿原におけるCO₂吸収機能に関する研究, 第11回環境研究シンポジウム「水圏・海洋を巡る環境研究の最前線」, 千代田区 (2013年11月13日).
- Uchida, M., A. Mo, N. Oura, M. Hirota, Y. Iimura, H. Kanda and T. Nakatsubo (2013) Introduction of a new projects: Study of carbon cycling at moss tundra, Roma, Italy (2013年10月9日~11日).
- 飯村康夫, 米林甲陽, 藤嶽暢英 (2013) 化学構造特性, 黒色度, 炭素・窒素安定同位体比から黒色腐植酸の生成過程を考えるー腐植酸の細分画法から見えること~, 日本土壌肥料学会, 名古屋市 (2013年9月11日~13日).
- 飯村康夫, 廣田充, 井田秀行, 大塚俊之 (2013) ブナ成熟林における成熟林エリアとギャップエリアの土壌炭素量および質の比較, 日本地球惑星連合大会, 千葉市 (2013年5月19日~24日).
- 大塚俊之, S. Suchewaboripont, 飯村康夫, 馬倩,

- 吉竹晋平, 小見山章 (2013) 白山山麓ブナ・ミズナラ原生林における炭素循環, 日本地球惑星連合大会, 千葉市 (2013年5月19日~24日) .
- 末富高志, 阪本鷹行, 徳永祥孝, 本田与一, 泉津弘佑, 鈴木一実, 入江俊一 (2013) ヒラタケのリグニン分解酵素発現調節機構におけるカルモデュリンの役割, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス(つくば国際会議場), つくば市(2013年11月20日~21日) .
- 末富高志, 阪本鷹行, 徳永祥孝, 本田与一, 亀下勇, 泉津弘佑, 鈴木一実, 入江俊一 (2014) カルモデュリン遺伝子組換えヒラタケにおけるマンガネロオキシダーゼアイソザイム遺伝子の発現様式, 第64回日本木材学会大会, 松山市 (2014年3月13日~15日) .
- Awala S., 泉 泰弘, 藤岡 悠一郎, 山根 浩二, O. Mwandemele, 飯嶋 盛雄 (2013) ナミビア北中部の傾斜実験圃場による混作栽培: 湛水ストレス下におけるトウジンビエ, モロコシ, イネの成長, 日本作物学会第236回講演会, 鹿児島市 (2013年9月10日~11日) .
- 高尾 暢之, 泉 泰弘, 山根 浩二, 大門 弘幸, 飯嶋 盛雄 (2013), ダイズ多段式根粒着生制御が根粒着生と収量に及ぼす影響, 日本作物学会第236回講演会, 鹿児島市 (2013年9月10日~11日) .
- 山本真弓, 泉津弘佑, 北出雄生, 羽當加奈子, 河合昌孝, 大田 明, 田中千尋 (2013) アグロバクテリウム法による外生菌根菌ホンシメジ (*Lyophyllum shimeji*) の遺伝子組換え変異株の作出, 日本きのこ学会第17回大会, 広島市 (2013年9月11日~13日) .
- 湯谷智, 泉津弘佑, 住田卓也, 北出雄生, 森田篤, 田中千尋 (2013) トウモロコシごま葉枯病菌の PKA1 は病原性を制御し, PKA2 と重複して基本的生育を制御する, 平成25年度植物病理学会関西部会, 岡山市 (2013年9月26日~27日) .
- 北出雄生, 泉津弘佑, 住田卓也, 湯谷智, 森田篤, 田中千尋 (2013) トウモロコシごま葉枯病菌の *ChSte7* 遺伝子は付着器形成や様々な形態形成に必須である, 平成25年度植物病理学会関西部会, 岡山市 (2013年9月26日~27日) .
- 泉津弘佑 (2013) 糸状菌特有のグリセロール合成経路, 糸状菌分子生物学研究会若手の会第1回若手の会ワークショップ, つくば市 (2013年11月19日) .
- 泉津弘佑, 多々良康香, 小松香織, 横山 綾, 谷口拓矢, 丸山麻美, 入江俊一, 鈴木一実 (2013) ミトコンドリア局在型の Enoyl-CoA hydratase はウリ類炭疽病菌の病原性発現に必須である, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, つくば市 (2013年11月20日~21日) .
- 山本真弓, 泉津弘佑, 北出雄生, 羽當加奈子, 田中千尋 (2013) アグロバクテリウム法による菌根菌ホンシメジの遺伝子組換え株の作出, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, つくば市 (2013年11月20日~21日) .
- 湯谷 智, 住田卓也, 北出雄生, 泉津弘佑, 田中千尋 (2013) トウモロコシごま葉枯病菌における cAMP シグナル伝達経路関連遺伝子の機能解析, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, つくば市 (2013年11月20日~21日) .
- 北出雄生, 泉津弘佑, 住田卓也, 湯谷 智, 田中千尋 (2013) トウモロコシごま葉枯病菌の *ChSte20* および *ChCla4* 遺伝子の機能解析, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, つくば市 (2013年11月20日~21日) .
- 住田卓也, 泉津弘佑, 田中千尋 (2013) 灰色かび病菌のオートファジー関連遺伝子 *BcAtg1* の機能解析, 第13回糸状菌分子生物学コンファレンス, つくば市 (2013年11月20日~21日) .
- 増田清敬 (2013) 滋賀県の環境こだわり農産物認証制度とその経営経済的評価, 第31回農薬環境科学研究会, エクシブ琵琶湖, 米原市 (2013年11月21~22日) .
- Ito, H., K. Masuda, T. Asagiri and Y. Yamamoto (2013) The potential of photovoltaic power generation in Japan's abandoned farmland, 2013 Asia Pacific Clean Energy Summit and Expo, Hawaii Convention Center, Honolulu, USA (2013年9月9日~11日) .
- Masuda, K. (2014) Economic and ecological sustainability on Japanese rice farms: An application of linear programming model, Australian Agricultural and Resource Economics Society 58th Annual Conference, Glasshouse Arts Conference and Entertainment Centre, Port

- Macquarie, Australia (2014年2月4日～7日).
- Akahori, H., K. Masuda and Y. Yamamoto (2014) Potential impact of greenhouse gas emissions caused by a Japan-China-Korea Free Trade Agreement, Australian Agricultural and Resource Economics Society 58th Annual Conference, Glasshouse Arts Conference and Entertainment Centre, Port Macquarie, Australia (2014年2月4日～7日).
- 赤堀弘和, 増田清敬, 吉田裕介, 山本康貴 (2013) 日中韓 FTA 締結が二酸化炭素排出量に及ぼす影響試算, 環境科学会 2013 年会, 静岡県コンベンションアーツセンター, 静岡市 (2013年9月3日～4日).
- Akahori, H., K. Masuda, Y. Yoshida and Y. Yamamoto (2013) Agricultural nutrient balances under a Japan-China-Korea Free Trade Agreement: Nitrogen and phosphorus, 第63回地域農林経済学会大会, 岡山市 (2013年10月18日～20日).
- 増田清敬, 鳩代昌平 (2013) プライベートブランド農産物の価格プレミアムにブランドエクイティが及ぼす影響, 第63回地域農林経済学会大会, 岡山市 (2013年10月18日～20日).
- 吉田裕介, 増田清敬, 山本康貴 (2013) 有機酪農経営と慣行酪農経営における環境影響比較: 余剰窒素量と余剰リン量の推定, システム農学会 2013 年度秋季大会, 盛岡市 (2013年11月1日～2日).
- 増田清敬, 宋柱昌, 近藤功庸, 山本康貴 (2014) 韓国の親環境農業政策による耕畜連携推進の実態分析, 第127回北海道農業経済学会例会, 札幌市 (2014年3月1日).
- 澤山奈里, 肥田嘉文, 増田清敬, 寄本明, 南和広 (2014) 10代における体の柔軟性の変化と体の痛みの自覚症状, 京都滋賀体育学会第143回大会, 京都市 (2014年3月8日).
- 川島和久, 皆川明子 (2013) 溝切りの方法の違いによるニゴロブナ *Carassius auratus grandoculis* の脱出率の相違について, 農業農村工学会京都支部第70回研究発表会, 京都市 (2013年11月13日)
- 皆川明子 (2013) 府中用水における水利用機能診断の適用事例, 農業農村工学会全国大会, 世田谷区 (2013年8月26日～28日).
- 西田一也, 小出水規行, 皆川明子, 渡部恵司, 森淳, 竹村武士 (2013) RAPD 分析によるアブラハヤ, タカハヤおよび交雑個体の判別方法の開発, 農業農村工学会全国大会, 世田谷区 (2013年8月26日～28日).
- 北野恵里, 岡野寛治 (2013) 白色腐朽菌処理による小麦ワラの消化改善に及ぼす MYP 培地の添加効果, 平成 25 年度 (第 63 回) 関西畜産学会滋賀大会, 彦根市 (2013年9月5日～6日).
- 中西康介, 田和康太, 沢田裕一 (2013) 水生昆虫は水田で繁殖できるのか?—早期湛水栽培の効果, 日本昆虫学会第73回大会, 札幌市 (2013年9月13日～16日).
- Tawa, K., K. Nakanishi, R. Kanai, D. Murakami and H. Sawada (2013) Is environmental rice cultivation effective for paddy-fish reproduction?, 3rd International Workshop on Sustainable Rice Production, Hanoi, Vietnam (2013年9月19日～20日).
- 金井亮介 (2013) 滋賀県の水田地帯に生息するカエル類の分布状況. 日本爬虫両棲類学会第52回大会, 札幌市 (2013年11月2日～3日).
- 田和康太, 中西康介, 沢田裕一 (2013) 湛水期間の異なる実験水田間においてドジョウ *Misgurnus anguillicaudatus* の繁殖状況は変化するのか?. 第25回日本環境動物昆虫学会年次大会, 神戸市 (2013年11月16日～17日).
- 田和康太, 金井亮介, 中西康介, 沢田裕一 (2014) カエル類はどのような条件の水田を産卵場所に選ぶのか? 日本生態学会第61回全国大会, 広島市 (2014年3月14日～18日).
- 日高直哉, 籠洋, 沢田裕一, 高倉耕一 (2014) インドネシア・ジャワ島におけるミカンコミバエ種群, *B. carambolae* と *B. papayae* の季節消長および寄主選択, 第58回日本応用動物昆虫学会大会, 高知市 (2014年3月26日～28日).
- 清水顕史 (2013) R で QTL 解析 大量データへの対応. 第31回日本植物細胞分子生物学会, 札幌市 (2013年9月10日～12日).
- 小林正明, 清水顕史, 他 15 名 (2013) モデル植物の大規模オミクス情報を活用した遺伝子発現ネットワークの種間比較解析. 日本植物細胞分子生物学会, 札幌市 (2013年9月10日～12日).
- Iehisa J.C.M., A. Shimizu, R. Nishijima, K. Sato, S.

- Nasuda and S. Takumi (2013) Application of SNPs derived from transcripts of two distinct *Aegilops tauschii* accessions to genome analysis of hexaploid wheat. The 12th International Wheat Genetics Symposium, Yokohama, Japan (2013年9月8日～14日).
- 佐々木恵美, 落合久美子, 間藤徹, 清水顕史 (2013) イネのリン欠乏応答酸性ホスファターゼ遺伝子 PiACP-8 の単離と機能解析. 日本育種学会第 124 回講演会, 鹿児島市 (2013年10月12日～13日).
- 小梶裕之, 槌田智子, 市川裕章, 光田展隆, 高木優, 間藤徹, 清水顕史 (2013) イネの転写因子 PiTF-6 は根の伸長およびリン欠乏応答性遺伝子に影響を及ぼす. 日本育種学会第 124 回講演会, 鹿児島市 (2013年10月12日～13日).
- Iehisa J.C.M., 清水顕史, 佐藤和広, 西嶋遼, 坂口晃平, 那須田周平, 宅見薫雄 (2013) タルホコムギの葉と穂の RNA-seq 解析から同定された SNP の 6 倍体コムギ解析への利用. 日本育種学会第 124 回講演会, 鹿児島市 (2013年10月12日～13日).
- 小林正明, 清水顕史, 他 18 名 (2013) オミクス情報を活用した遺伝子発現ネットワークの網羅的な種間比較解析. 日本育種学会第 124 回公演会, 鹿児島市 (2014年3月20日～3月21日) 日本育種学会第 124 回講演会, 鹿児島市 (2013年10月12日～13日).
- 濱本有希, 築山拓司, 清水顕史, 寺石政義, 谷坂隆俊, 奥本裕 (2013) イネ RUM1 による tRNA の硫黄修飾を介したタンパク質翻訳効率の制御. 日本育種学会第 124 回講演会, 鹿児島市 (2013年10月12日～13日).
- 小林正明, 清水顕史, 他 17 名 (2013) 大規模オミクス情報を活用した網羅的な遺伝子発現ネットワーク構築と種間比較解析. 日本育種学会第 125 回公演会, 仙台市 (2014年3月20日～21日).
- 西村美咲, 南川拓也, 須戸幹 (2014) 水田施用除草剤の一筆水田からの浸透流出特性, 第 48 回日本水環境学会年会, 仙台市 (2014年3月17日～19日).
- 南川拓也, 北野友紀, 那須誠, 西村美咲, 須戸幹 (2014) 流出経路の違いによる水田施用除草剤の環境負荷の評価, 第 48 回日本水環境学会年会, 仙台市 (2014年3月17日～19日).
- 方義, 明石拓也, 須戸幹 (2014) 琵琶湖流域の灌漑期水田における富栄養化塩類の流入と流出, 第 48 回日本水環境学会年会, 仙台市 (2014年3月17日～19日).
- 那須誠, 上野万裕, 須戸幹 (2013) 水田に散布される殺菌・殺虫剤の河川への流出特性, 第 31 回農薬環境科学研究会, 米原市 (2013年11月21日～22日).
- 石川和也, 渡辺貴史, 種村尚幸, 杉浦省三 (2013) 養魚飼料原料としての菜種粕と水草の消化率改善方法の検討. 平成 25 年度日本水産学会秋季大会, 津市 (2013年9月19日～22日).
- 種村尚幸, 渡辺貴史, 杉浦省三 (2013) 繊維質分解酵素処理による菜種粕, 大豆粕, 水草および天草粕飼料のニジマスにおける消化率の改善. 平成 25 年度日本水産学会秋季大会, 津市 (2013年9月19日～22日).
- 關真千子, 杉浦省三 (2013) QPCR による DNA 消化率の簡易測定. 平成 25 年度日本水産学会秋季大会, 津市 (2013年9月19日～22日).
- 渡辺貴史, 種村尚幸, 杉浦省三 (2013) フナズシ発酵処理による菜種粕, 大豆粕, 水草および天草粕のタンパク質と無機元素類のニジマスにおける利用率. 平成 25 年度日本水産学会秋季大会, 津市 (2013年9月19日～22日).
- 杉浦省三 (2013) 魚類栄養学の歴史を辿る. 平成 25 年度日本水産学会秋季大会, 津市 (2013年9月19日～22日).
- Taguchi, T., Y. Miura, D. Krueger and S. Sugiura (2013) How are non-native predators influencing fishes in Lake Biwa? - Can rice farming in Shiga help restore endemic fisheries in the region? 62nd Annual Meeting of the Midwest Conference on Asian Affairs (MCAA), Kellogg Hotel & Conference Center, Michigan State University East Lansing, MI, USA (2013年10月25日～27日).
- 上町達也, 橋井望, 樹下真人 (2014) ガクアジサイおよびヤマアジサイの光合成特性と強光耐性, 園芸学会平成 26 年度春期大会, つくば市 (2014年3月29～30日).
- 小倉伸介, 政木芽衣, 肥田嘉文, 上町達也 (2014) 野菜がもつ変異原性と虫害の程度との関係, 第 48 回日本水環境学会, 仙台市 (2014年3月17日～19日).

上町達也, 橋井望, 樹下真人 (2013) ITS 配列に基づいたアジサイ古品種の系統解析, 園芸学会平成 25 年度秋季大会, 盛岡市 (2013 年 9 月 20 日~22 日).

上町達也, 樹下真人, 千頭航 (2013) 頸城山塊周辺に自生するヤマアジサイ及びエゾアジサイの系統解析, 園芸学会平成 25 年度秋季大会, 盛岡市 (2013 年 9 月 20 日~22 日).

7. 研究会等, 講演会, 特別講義での発表

1) 研究会等における発表

Kosugi A. (2013) Metal accumulation of lowland and highland ecotypes of *Arabidopsis halleri* ssp. *gemmaifera* in a limestone mining site on Mt. Ibuki. Lessons from the Field-Experimental Design and Practical Aspects of Fieldwork in Evolutionary and Ecological Functional Genomics-, Bochum, Germany (2013 年 6 月 13 日~14 日).

浅山拓馬, 白木望美, 井上翔太, 奥田絵里奈, 長谷川博, 原田英美子 (2014) 水生植物オオカナダモの Mn 蓄積性に影響する環境要因の調査, 第 11 回 いしでら まちづくり勉強会, 彦根市 (2014 年 3 月 16 日).

林千鶴, 原田英美子 (2014) オオカナダモ付着藻類の分子生物学的手法による解析, 2014 年 3 月 16 日, 第 11 回 いしでら まちづくり勉強会, 彦根市 (2014 年 3 月 16 日).

皆川明子 (2013) 魚はどこから田んぼに入る/出る?-東京都・三重県での事例-, 第 4 回琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2013 年 12 月 22 日).

山上繁政, 中西康介, 田和康太, 富小由紀 (2013) 湛水開始時期の異なる水田における動物プランクトン群集の季節的消長, 第 4 回琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2013 年 12 月 22 日).

金田拓也, 田和康太, 中西康介, 藤井暢之, 金井亮介, 沢田裕一 (2013) 中山間部水田の側溝におけるアカハライモリの産卵状況, 第 4 回琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2013 年 12 月 22 日).

富小由紀, 田和康太, 山上繁政, 中西康介 (2013) 湛水時期の違う田んぼにおける動物プランク

トンの季節的消長年次比較, 第 4 回琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2013 年 12 月 22 日).

岡祐助, 中西康介, 田和康太, 金田拓也, 藤井暢之, 沢田裕一 (2013) 水田に生息するニホンアマガエルの個体群動態に及ぼす冬期湛水の影響, 第 4 回琵琶湖地域の水田生物研究会, 草津市 (2013 年 12 月 22 日).

清水顕史 (2013) R を用いた QTL 解析入門.明治大学・科学技術研究所シンポジウム「大規模オミックス情報解析がもたらす生命科学の新たな展開」, 川崎市 (2013 年 9 月 2 日).

清水顕史 (2014) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定と DNA マーカーの開発 (LCT0005), 平成 25 年度次世代ゲノムプロジェクト, 文京区 (2014 年 1 月 17 日).

小梶裕之, 清水顕史 (2014) イネを用いた有用遺伝子研究例の紹介, コア SSH サイエンスフェスティバル, 彦根市 (2014 年 3 月 15 日).

鈴木一実 (2014) 農薬の種類と作用機作, 植物防疫研修会 (第 2 回病害虫防除所研修会), 滋賀県農業技術振興センター (近江八幡市) (平成 26 年 3 月 11 日).

上町達也 (2013) 日本におけるヤマアジサイとガクアジサイの分布, 第 3 回国際アジサイ会議, 鎌倉市 (2013 年 6 月 11 日).

2) 講演会

入江俊一 (2013) ヒラタケなどの食用キノコによる有用酵素ラッカーゼの大量生産 (滋賀県立大学シーズ発表会), コラボしが 21 (大津市) (2013 年 11 月 29 日).

入江俊一 (2013) 食用キノコ酵素生産と鮎寿司発酵過程における乳酸菌叢の解析 (滋賀県バイオビジネスサロン シーズ発表会), 大学サテライト・プラザ彦根 (彦根市) (平成 26 年 2 月 27 日).

増田佳昭 (2014) 多様化する組合員と J A との関係はどう再構築するか, (社) 農業開発研修センター・金融問題研究会, 京都市 (2014 年 1 月 23 日).

岡野寛治 (2013) 動物と人と堆肥, 野菜や草花を栽培して育てる楽しみや不思議さ, 大切さを学習する体験教室, 京都教育大学附属環境教育実践センター生物生産教育研究会, 京都教育大学附属環境教育実践センター (京都市)

(2013年11月16日)。

杉浦省三 (2013) 稲わら等の未利用廃棄物の飼料化によるビワマス, モロコ, アユなどの養殖. 滋賀バイオビジネスサロン, 草津市民交流プラザ (草津市) (2013年9月6日)。

塚田匡輝, 殿山泰弘, 河内浩行, 杉浦省三, 堀伸明, 眞田的貴, 岡郷平, 清水淑子, 清水信義 (2013) ビワマスプロジェクト 2013~養殖ビワマスの脂のりを良くする飼料開発~. びわ湖環境ビジネスメッセ 2013, 長浜ドーム (長浜市) (2013年10月24~26日)。

上町達也 (2013) シーボルトが愛したハイドラソニア, NPO 法人 シニア自然大学校 地球環境「自然学講座」講演会, 此花会館 (大阪市) (2013年6月8日)。

3) 授業

入江俊一 (2013) DNA の切断, 結合, 大腸菌の形質転換. 滋賀県立大学・虎姫高等学校高大連携事業, 滋賀県立大学 (2013年8月22日)。

増田清敬 (2013) Does environmentally friendly agriculture in Shiga prefecture mitigate environmental problems?, 国際協力機構 (JICA) 平成 24 年度「(集団研修)ゼロエミッション型農業・農村開発」, 滋賀県立大学 (2013年4月24日)。

皆川明子 (2013) 農業用水路ってなに?, 高大連携セミナー, 滋賀県立大学 (2013年8月6日)。

清水顕史 (2013) イネの DNA 解析, 滋賀県立大学高大連携講座 (河瀬高校), 滋賀県立大学 (2013年8月20日~21日)。

清水顕史 (2013) 京都大学集中講義「バイオインフォマティクス」, 京都大学 (2013年9月17日~19日)。

須戸幹 (2013) 水質検査法研修会, 彦根東高校スーパーサイエンスハイスクールコア事業, 滋賀県立大学 (2013年7月18日)。

8. 展覧会等

なし

9. 競争的研究資金の導入

1) 本学特別研究

泉津弘佑. 特別研究, アカマツーホンシメジをモデルとした外生菌根共生メカニズムの解明, 平成 25~26 年度, 121.9 万円。

2) 科学研究費補助金

原田英美子, 長谷川博. 水生植物における重金属の吸収機構と体内挙動の解明および水圏環境浄化への応用, 基盤研究 (C), 平成 24~26 年度, 90 万円。

水野隆文, 竹中千里, 富岡利恵, 原田英美子. ウコギ科植物における金属集積機構の解明と放射性ストロンチウム除去技術への応用, 基盤研究 (B), 平成 24~26 年度, 113 万円。

廣田充, 飯村康夫, 井田秀行. ギャップモザイク構造を考慮した成熟林の炭素吸収能力の再評価, 基盤研究 (B), 平成 24~27 年度, 10 万円。

飯村康夫. 多様な土壌炭素の分解反応に及ぼすプライミング効果の定量的評価, 若手研究 (B), 平成 25~26 年度, 325 万円。

飯嶋盛雄, 大門 弘幸, 泉 泰弘, 村上 則幸, 辻 弘幸, 杉山 高世, 山根 浩二. ダイズ子実への持続的な窒素供給を目指した根粒着生制御理論の提案, 基盤研究(B), 平成 25 年~27 年度, 650 万円。

飯嶋盛雄, 西川芳昭, 檜山哲哉, 太田岳史, 泉 泰弘, 山根浩二, 阿部進, 藤岡悠一郎, 鈴木哲司, L. Kanyomeka, O. Mwandemele, S. Awala, P. Nanhapo, P. Ausiku, T. Lwiinga, P. Kompeli. 半乾燥地の水環境保全を目指した洪水一干ばつ対応農法の提案(生物資源分野研究領域「生物資源の持続可能な生産・利用に資する研究」), 地球規模課題対応国際科学技術協力プログラム (SATREPS), JICA および JST, 平成 24 年~28 年度, 104 万円。

泉津弘佑. 植物病原菌ゲノミクス手法を用いた殺菌剤作用点同定基盤の確立およびその応用, 研究活動スタート支援, 平成 25~26 年度, 143 万円。

増田清敬. ライフサイクルアセスメントと経営計画モデルの統合による農業経営の持続可能性評価, 平成 24~25 年度科学研究費補助金, 若手研究 (B), 60 万円。

山本康貴, 馬奈木俊介, 増田清敬. クロス・コンプライアンス適用に向けた新たな農業政策設計のための手法開発, 平成 23~25 年度科学研究費補助金, 基盤研究 (B), 40 万円.

増田佳昭. 企業体形成型協同組合の制度的実態的特性と社会的意義に関する産業分野横断的研究, 基盤研究 (B), 平成 23 年~25 年度.

沢田裕一, 他 3 名. 検疫害虫ミバエ類の原産地における生態特性と種間関係: 繁殖過程と寄主選択からの解明, 基盤研究 (B) (海外学術調査), 平成 25~29 年度, 377 万円.

安田弘法, 沢田裕一, 他 9 名. 東アジアにおける無農薬・無化学肥料・無除草剤による低投入環境保全型水稻栽培の確立, 基盤研究 (B) (海外学術調査), 平成 23~25 年度, 468 万円.

夏原由博, 沢田裕一, 他 9 名. 水田の生物がもたらす生態系サービスの賢い利用を導く技術と社会の総合研究, 基盤研究 (A), 平成 24~26 年度, 1,079 万円.

上町達也. アジサイ属日本固有種の未利用遺伝資源を活用した耐候性育種素材の開発, 基盤研究 (C) 平成 24~26 年度, 140 万円.

3) 政府および地方公共団体(関連法人を含む)からの補助金

清水顕史. 農林水産省・ゲノム情報を活用した農畜産物の次世代生産基盤技術の開発プロジェクト (LCT0005) イネのリン酸の効率的吸収に関わる遺伝子の同定と DNA マーカーの開発, 平成 25~29 年度, 500 万円.

4) その他財団からの研究補助金

須戸幹. 財団法人河川環境管理財団, 水田施用殺虫剤・殺菌剤の河川への評価手法の開発と流出リスク低減対策, 平成 25 年度, 110 万円.

5) 受託研究の受け入れ

須戸幹. 独立行政法人農業環境技術研究所, 農薬モニタリングおよび農薬使用実態調査業務, 平成 24 年度, 99.5 万円.

杉浦省三. ビワマスを肥育させるための飼料開発及び湖魚の機能性評価事業 (メダカ用餌の

製剤化と給餌設計), 長浜バイオ大学, 長浜市, 平成 25 年度, 63 万円.

10. 研究員の受入

中西康介, 沢田裕一. 水田生態系における生物多様性保全に関する応用研究. 2013 年 4 月 1 日~2014 年 3 月 31 日.

11. 特許, 実用新案, 品種登録, 意匠, その他著作権に関わる事項

なし

12. 社会への貢献

1) 各種委員会

飯村康夫, 地球環境再生プログラム: 中部山岳地域の環境変動の解明から環境資源再生をめざす大学間連携事業広報委員会, 委員 (2013 年 3 月~10 月).

入江俊一, 滋賀県バイオビジネスサロン, 運営委員, 3 回 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 湖国農政懇話会, 会長, 滋賀県 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 滋賀県環境こだわり農業審議会, 委員, 滋賀県 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 農協職員資格認証試験委員会, 委員長, 近畿地区 6 府県農業協同組合中央会 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 農協監査士試験委員会, 委員, 全国農業協同組合中央会 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 滋賀県立大学生生活協同組合, 副理事長 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 大津市公設地方卸売市場運営協議会, 委員長 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, 京都市中央卸売市場第 2 市場運営協議会, 委員 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

増田佳昭, こだわり滋賀ネットワーク, 幹事 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

皆川明子, 滋賀県生物多様性地域戦略策定に係るワーキンググループ, 委員, 滋賀県, 2 回 (2013 年 4 月~2014 年 3 月).

皆川明子, 滋賀県農村振興交付金制度審議会,

委員，滋賀県，2回（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，北陸農政局国営事業の環境に係る情報協議会，委員，北陸農政局，2回（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，豊かな生きものを育む水田づくり懇話会，委員，滋賀県，3回（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，環境配慮施設の効果的な配置手法検討委員会，委員，農林水産省，3回（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，新三重県立博物館の基本展示「平野のくらしと自然」コーナー展示監修，三重県（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，下鶴井地区圃場復元検討会，委員，近畿地方整備局豊岡国道事務所（2013年4月～2014年3月）。

岡野寛治，平成22年度食の安全・安心確保交付金（食の安全・消費者の信頼確保対策整備交付金「家畜衛生の推進」（高度画像診断装置）に関する意見ならびに平成24年度食の安全・安心確保交付金（食の安全・消費者の信頼確保対策推進交付金）「家畜衛生の推進」「飼料の安全性の確保」に関する意見，滋賀県畜産課（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，水産動植物登録保留基準設定検討会，委員，3回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，PRTR 非点源排出量推計方法検討会 委員，2回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，農業集落排水施設計画策定基礎調査委員会，委員，2回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，滋賀県みずすまし会議みずすまし専門部会（水質保全専門部会），部会員，1回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，赤野井湾流域協議会，委員，0回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，大津市環境審議会 委員，0回（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，2012 青少年のための科学の祭典滋賀大会，副実行委員長，5回（2013年5～12月）。

須戸幹，膳所高校スーパーサイエンスハイスクール運営指導委員会，委員，3回（2013年4月～2014年3月）。

鈴木一実，湖南省環境審議会委員，3回（2013年4月～2014年3月）。

2) 学会貢献

増田清敬，地域農林経済学会編集担当常任理事・近畿支部理事（2013年4月～2014年3月）。

増田佳昭，地域農林経済学会，常任理事（副会長）（2013年4月～2014年3月）。

増田佳昭，日本農業経済学会，理事（2013年4月～2014年3月）。

増田佳昭，近畿農業協同組合研究会，運営委員（2013年4月～2014年3月）。

増田佳昭，くらしと協同の研究所，研究委員（2013年4月～2014年3月）。

皆川明子，農業農村工学会，学会誌企画・編集委員会委員（2013年5月～2014年3月）。

皆川明子，農業農村工学会，研究委員会委員（2012年10月～2014年3月）。

小谷廣通，農業農村工学会 代議員（2013年6月～2014年3月）。

小谷廣通，農業農村工学会京都支部代表幹事（2013年4月～2014年3月）。

岡野寛治，関西畜産学会評議員，1回（2013年4月～2014年3月）。

岡野寛治，日本農業教育学会評議員，1回（2013年4月～2014年3月）。

岡野寛治，肉用牛研究会評議員，1回（2013年4月～2014年3月）。

岡野寛治，第63回関西畜産学会滋賀大会（2013年9月5日～6日）委員長。

沢田裕一，日本環境動物昆虫学会，理事会，1回（2013年1月～2014年3月）。

沢田裕一，日本環境動物昆虫学会，理事・評議員会，1回（2013年1月～2014年3月）。

清水顕史，日本育種学会幹事（2014年3月）。

清水顕史，近畿作物育種研究会評議員（2013年4月～2014年3月）。

須戸幹，日本水環境学会，水環境学会誌編集委員会，委員（2013年4月～2014年3月）。

鈴木一実，関西病虫害研究会編集委員（2013年4月～2014年3月）。

鈴木一実，関西病虫害研究会評議員（2013年4月～2014年3月）。

上町達也，園芸学会近畿支部評議員会 1回（2013年4月～2014年3月）。

2) 国際貢献・海外調査など

飯村康夫, ノルウェー・スピッツベルゲン島・
ニーオルスンでの生態系観測 (2013 年 7 月 1
日～21 日) .

3) その他

原田英美子, 京大大学生態学研究センター協力研究
員(2013 年 4 月～2014 年 3 月).

1 3. マスメディアとの対応

1) 新聞, 雑誌からの取材による記事

入江俊一(2013) 中日新聞, 2013 年 12 月 4 日.